

各ワクチンの副反応報告件数

ワクチンの種類	A+C		B+D		A企業からの報告		B企業報告のうち医師が重篤と判断したもの ^{※2}		C医療機関からの報告		D医療機関報告のうち医師が重篤としたもの		接種回数 ^{※3}
	件数	発生率 ^{※1}	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	件数	発生率	
子宮頸がん予防ワクチン(2剤合計)	2,475	278.1	617	69.3	921	103.5	340	38.2	1,554	174.6	277	31.1	8,898,150
サーバリックス 【平成21年12月発売～平成26年3月31日】 ^{※4}	2,022	288.8	483	69.0	813	116.1	272	38.8	1,209	172.7	211	30.1	7,001,592
ガーダシル 【平成23年8月発売～平成26年3月31日】 ^{※4}	453	238.9	134	70.7	108	56.9	68	35.9	345	181.9	66	34.8	1,896,558

※1 発生率は100万接種あたりの発生数

※2 副反応報告制度は、予防接種との因果関係の有無に関わらず、接種後に健康状況の変化をきたした症例を収集したもの

※3 接種回数については、製造販売業者の出荷量からの推計

※4 データは平成25年12月25日開催の合同会議時点から更新